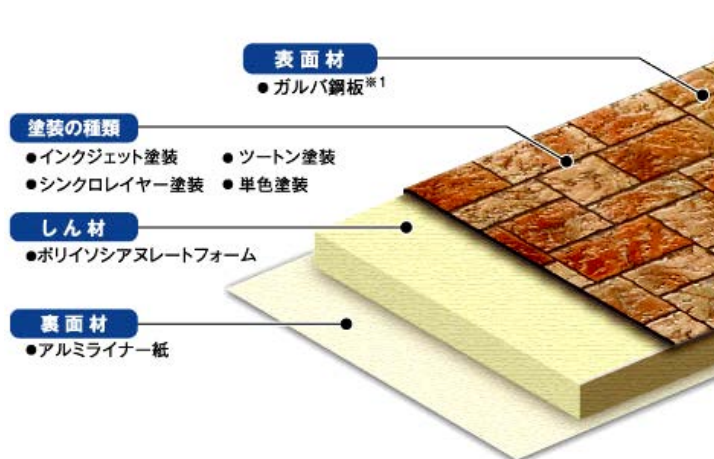


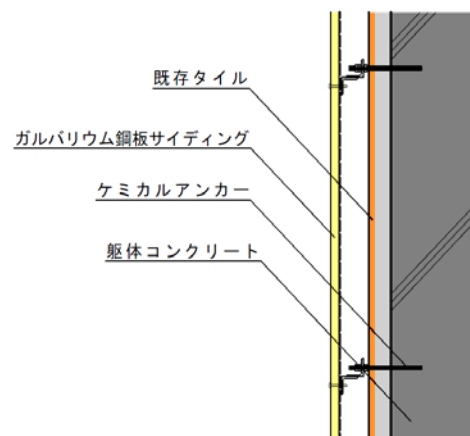
■外壁：G L 鋼板サイディングカバー工法

・ G L 鋼板サイディングカバー工法とは

金属サイディングを現状の仕上げ材の上に施工する方法をカバー工法と呼びます。本工事においては、①外壁からの雨漏りの原因を効果的に排除できる ②ケミカルアンカーにより躯体とタイルを一体化させるため落下事故を防止 ③断熱材と空気層による省エネ効果 などの理由から、カバー工法を採用しました。



代表的なG L 鋼板サイディング断面



カバー工法施工断面図

・ 金属サイディングとは

成型・エンボス加工された金属板と裏打材によって構成された外壁材です。一貫した製造ラインで工場生産され、仕上がり均一、取り付けが容易、塗装仕上げが不要等の特徴を持つ外装建材です。

特徴としては、①軽量で建物に優しい ②断熱性に優れ、省エネ効果抜群 ③ひび割れ・凍害に強い ④工期短縮を図ることが可能 などがあります。

・ G L 鋼板（ガルバリウム鋼板）とは

アルミニウム・亜鉛合金めっき鋼板のことで、アルミニウムを55%含んだめっき鋼板。アルミニウムの耐久性と亜鉛の犠牲防食作用を併せ持つ優れた鋼板で、一般的には「ガルバ」「G L」と略称される。寿命は従来の亜鉛めっき鋼板の数倍と言われている。

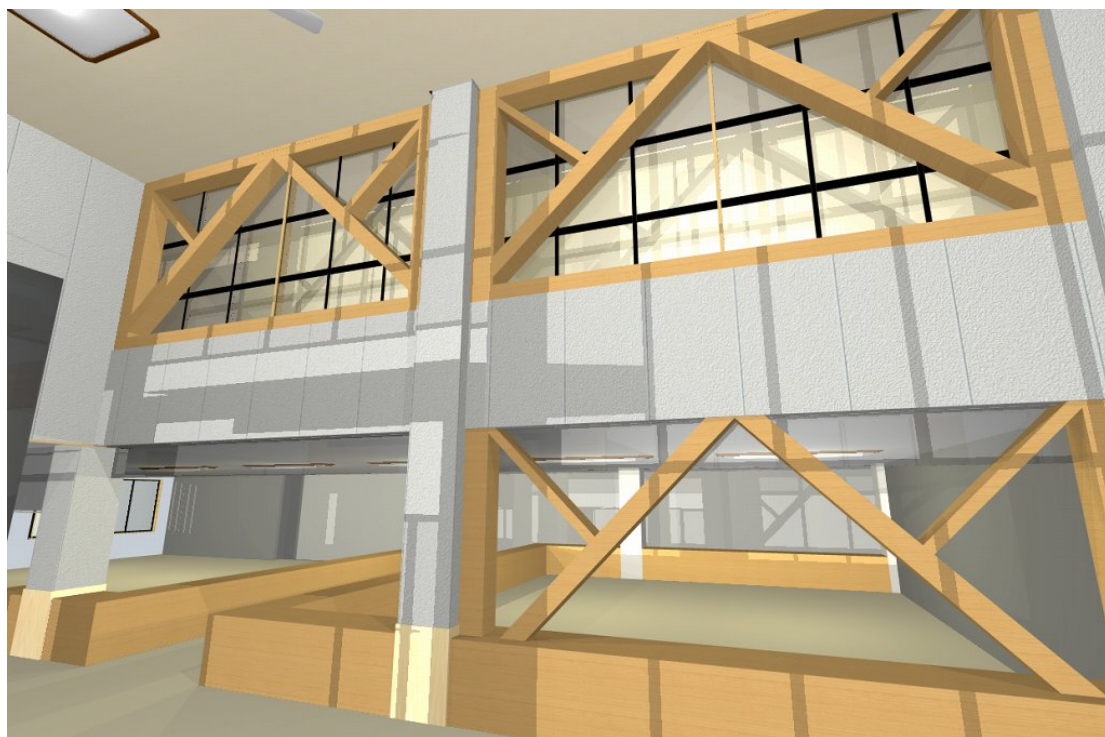
※犠牲防食とは、亜鉛などのイオン化傾向の大きい金属を鉄鋼材料などに接触させておくと、亜鉛などが犠牲的に腐食して鉄鋼材料などの腐食を抑制すること



外壁のイメージ図（壁等の色彩については発注後に協議して決定する。）

■ 枠付き鉄骨ブレース

鉄骨補強部材【本工事ではK型ブレース（筋かい）】の周辺に鉄骨枠を配し、既存躯体に樹脂アンカーを、鉄骨枠にスタッド（鉚：金属製の留め具の一種）を配して、躯体コンクリートと鉄骨枠を高強度・高流動モルタルで緊結する工法。軽量で施工性が良い。



内観のイメージ図（ロビーから事務室方向）